

**右京区役所** ☎861-1101 (代表)  
〒616-8511 右京区太秦下刑部町12番地  
http://www.city.kyoto.lg.jp/ukyo/  
区役所ホームページ、Facebook  
常時更新中!  
インターネットテレビ「右京コミュニティTV」も  
ぜひのぞいてみてね!



右京区役所 Facebook

**振り込まない!  
決めよう家族で  
合言葉**

振り込み詐欺にご注意を!  
右京警察署 井上署長



**京都いつでもコール**

みなここ ☎661-3755 FAX 661-5855  
ごようはここ

お掛け間違いにご注意ください。

Eメール (ホームページから)

京都いつでもコール 検索

申込み・問合せ ☎かFAX、Eメールで。

**知る! 伝える! 喜びを分かち合おう!** (京都光華女子大学 ゆるゆる~)

お年寄りの交流を通して、昔の生活や遊びを調査し、手作りの今昔カードを作成。児童館を中心に、楽しみながら今昔の歴史を伝え、交流することを目的に活動しています。

8月、9月、11月に西京極西児童館と葛野児童館で各1回ずつ今昔カードを使った神経衰弱ゲームを実施。延べ200名を超える児童が参加し、ゲームを楽しみながら様々な



京都嵯峨芸術大学での打合せの様子

右京区まちづくり支援制度支援事業活動中!  
右京区の民話をDVD絵本にして次世代に伝える(NPO 法人京都の文化を映像で記録する会)

私たちはミレーの「落穂拾い」のように、地域にこぼれている小さな文化を丁寧に拾い上げて次世代に手渡す活動をしています。

平成25年度は、右京の民話や伝説をDVD絵本として完成。京都嵯峨芸術大学の学生に協力していただき、民話・伝説を絵画などで表現し、映画的な演出でカメラ撮影・編集しています。

今後、この完成したDVDを右京区の小中学校や図書館などに広く配布し、活用してもらえよう取り組んでいます。

(ホームページ) http://www.miyakodori.org/  
関京都の文化を映像で記録する会 ☎071-6603-1



京北での聞き取り調査の様子

これまで、京北地域を何度も訪問し、10名を超える話者の方にお会いし、民話の聞き取り調査などを実施。「京北の方々がいつも温かく迎えてくださるのが嬉しかった。これからも京北の活性化に携わっていききたい」と話す学生は、話者の方との仲を深め、地域の行事に参加したり、稲刈りのお手伝いしたりと活躍の場を広げていました。

学生の思いが詰まったこのリーフレットで、京北地域の魅力を発信していきます。

失われたつらある地域遺産や伝統を保存、継承することも、地域住民との交流を深めることを目的として、京北を中心に、民話・伝説を調査・収集し、リーフレットを発行しました。

民間伝承の収集と公開による京北を中心とした右京区地域コミュニティの活性化(花園大学 右京区民話調査グループ)



児童館にて今昔ゲームの様子

歴史を学びました。活動する学生は、「お年寄りの方々が時間を忘れてお話ししてくださったり、顔を覚えた子どもたちが迎えてくれたりするの嬉しい」と活動での喜びを語ります。

忘れられた生活道具などを、伝えていくべき歴史を知り、伝え、交流する、ゆるゆるの今後の活動に期待!

**うれしいニュース**  
踏切での人命救助に感謝状  
助けたのは近所さん!  
(嵯峨野学区)

右京警察署は、3月13日、石川尚男さんに感謝状を贈りました。

石川さんは、1月23日午後2時半ごろ、嵐電嵐山本線有栖川駅西側の踏切内で、意識を失って倒れている隣山繁夫さんを発見。必死に踏切内に飛び込み、救出しました。

なんと、お二人は偶然にも同じ町内の住人。その時のお話について、伺いました。

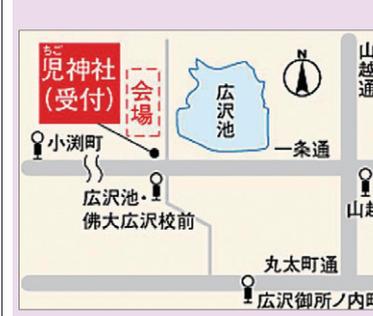
(石川氏) 倒れている方を見つけた、まさかと思い、声を掛けたが反応がなく、こりゃ危ない! と思いました。踏切の中に飛び込み、体を動かそうと思いましたが、なかなか動かない。カンカンと警報機が鳴り始め、非常ボタンも見つからない中、恐怖心もありましたが、後から抱きか

**れんげと田園風景を楽しむ右京の一日**  
「第45回れんげを摘む会」

北嵯峨の田園一面のれんげを摘みながら、春のひと時を過ごしてみませんか? 当日、エリアマップを配布しますので、散策をお楽しみください。水筒・弁当持込可。

日時 4月23日(水) 午前9時~午後3時 小雨決行  
水雨天の場合は4月24日(木)に延期

場所 広沢池西側一帯  
\*自然条件によりれんげが咲きそわない場合があります。  
主催 右京区民ふれあい事業実行委員会・京都市農業協同組合嵯峨支部・右京区役所  
地域力推進室 まちづくり推進担当 ☎861-1264  
当日のお問い合わせ:  
午前8時以降「京都いつでもコール」☎661-3755まで



かえ、なんとかレールの上から移動させました。電車も危機一髪で停車し、運転手の方が救急車を呼んでくれました。名前と顔を見て、同じ町内に住む隣山さんだということに気が付き、驚きました。

(隣山氏) 自分がどんな状況で、どこで倒れたのかは覚えていなかったのですが、気が付いたとき「町内の石川さん」ということが分かりました。今では運動もできるようになり、本当に感謝しています。

無我夢中の救出劇。その最中にはお互い気づかなくとも、意識を取り戻した隣山さんにとって近所さんの顔が見えた安心感は計り知れません。人と人とのつながりの大切さを改めて実感させられることができました。

**「なかえ路」でつなぐ地域の絆(京北中江町会)**

中江町会は、昭和57年から手作りの機関紙「なかえ路」を毎月1回発行し続けて33年。村山淳町会長に「なかえ路」を通して人と人とのつながりや町の歴史を伝えながら取り組む町会の活動について、お話を伺いました。

■どのような町会ですか。  
昔からある35世帯の町会です。小さいからこそまとまりがよく、仲が良いですよ。私は平成25年度、20数年ぶりに2度目の町会長を務めることになりました。

■町会の行事について教えてください。  
町会独自の行事で大きいものは、9月に開催される「なかえ祭」です。午前中は、クレーン作戦として、全員参加で道路などの清掃活動を行います。午後からは、実行委員がバザーや屋台の準備をします。夕方ごろから、町内が集まり、晩御飯と一緒に楽しみます。有志が行っている合鴨農法を活用した「合鴨の串焼き」は人気で、ものすごく美味しいですよ。その他、ビンゴゲームをしたり、お酒を飲んだり、世間話を楽しみます。最近では、町内全体が集まる機会がないので、年に一度の大交流祭です。

■機関紙「なかえ路」について教えてください。  
この機関紙には、中江町への愛と歴史がぎっしりと詰まっています。2人の編集委員から始まり、今では9人が務めています。全て手書きで作成しており、「継続は力なり」を合言葉に、発行当時から、「年間を通じて各戸を紙面

に登場させる」「住民の団結力が図れるように」「編集委員一人一人の特技を生かす」「地区外にも広めよう」などの編集方針のもと、地域の皆さんに愛される「なかえ路」を発行しています。

■「なかえ路」にはどんな内容が掲載されていますか。  
地域行事の報告記事や歳時記風の記事、町内の結婚や出産をお祝いする記事、クロスワードクイズや4コマ漫画など、盛りだくさんの内容です。とってもおもしろいですよ。京都機関誌コンクール最優秀賞を何度も受賞したり、平成26年のお正月特大号は、初めて、全国機関誌新年号コンクール優秀賞を受賞しました。

お正月号と云えば、クロスワードも特大になり、答えには、町内の人の名前が入るようになっていきます。クロスワードの景品は、町会を取り組んでいるアルミ缶回収で買った費用を活用しています。

■「なかえ路」はどのように配布していますか。  
毎月編集委員が手渡しで配っています。一人暮らしのお年寄りの方が楽しみに待っていてくださるのを見ると嬉しいですね。

■最後に一言  
これからも、「なかえ路」を通じて、地域に密着した情報を届け、中江町の歴史を綴りながら、人と人とのつながりを大切にしていきます。



中江町・村山淳町会長

**発見!**  
自治会・町内会の  
ス・テ・キ  
20